

それって本当にごみ？人と資源が環る持続可能なまちづくり ～みんなで力を合わせて次の世代につなぐ“ふるさと亀岡”～

みなさんが出されるごみの中にはまだまだたくさんの資源が含まれています。

「それって本当にごみ？」

みなさんとともに考えることで、多くのごみを減らすことができます。ごみを資源として循環させる、いわゆる持続可能なまちづくりは、今や世界の主流となっています。

実は、亀岡市のごみの処理には毎年約**11億円**の費用がかかっています。

ごみを燃やしている桜塚クリーンセンターは施設が古くなり、更新時期が迫っています。また、ごみを埋め立てているエコピア亀岡は残る容量が少なくなってきました。しかし、これらの施設をもう一度つくろうとすると、**100億円以上の費用**が必要となります。

そこで、ごみを資源として考え、

“燃やすだけに頼りすぎない”

“新たな埋立処分場はつくらない”

そんなまちづくりを進めることで、ごみを処理する費用を大きく減らすことが将来世代に向けた今を生きる私たちの責任です。



そして、その費用を子育てや教育、福祉の充実へとシフトさせ、環境の取組みから始まる「誰もが幸せになる未来」を目指していきたいと考えています。

子どもたちに美しいふるさと亀岡をつなぎ、将来世代に負担をかけないためにも、みなさんのご理解とご協力が必要です。

令和5年4月からのごみの分別区分の拡大は、その第一歩です。

ごみ処理にかかる費用を削減し、市民の幸福度を高めるさまざまな事業に！



© SoftBank Robotics

教育の充実



子育て・保育の充実



福祉の充実

環境から始まる誰もが幸せになれる未来へ！

